

第46回 和水町古墳祭

6日(土) 前夜祭



- ① 前夜祭全体図 ② 船山太鼓の披露
- ③ チアリーディングダンス
- ④ 商工会青年部によるチャリティオークション
- ⑤ 子ども夜店市 ⑥ 三角灯籠作成の様子

(3ページ)

- ⑦ 菊水中・三加和中の3年生女子生徒による浦安の舞
- ⑧ ムリテの舞
- ⑨ 三角灯籠
- ⑩ 町観光PRショートフィルムの上映
- ⑪ 神事
- ⑫ 奉納の舞
- ⑬ たくさんの来場者が松明行列を見守りました



「熊本の炎は消えない」
「第46回和水町古墳祭」が8月6日(土)、7日(日)の両日、江田船山古墳公園一帯で開催されました。

今回は4月に発生した熊本地震からの復興を祈願し、「熊本の炎は消えない」をテーマに、復興への思いを込めた三角灯籠の設置やチャリティーイベントなどが実施されました。

6日(土)の「前夜祭」では、射的・金魚すくいなどの夜店市や商工会青年部によるステージイベントが行われ、会場内は大変な盛り上がりでした。チャリティーライブでは、熊本出身のミュージシャン進藤久明さんが、CMでおなじみの「あしたへ」を歌うと、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。

また、7日(日)には和水町古墳祭のメインである「炎の宴」が行われ、古代人に扮した約800人による松明行列では、闇夜に幻想的な光景が広がりました。

途中、雨に見舞われましたが、ラストの「火巫女の舞」「ムリテの舞」では、炎に囲まれた厳かな雰囲気の中、華麗な舞が江田船山古墳に奉納されました。

祭のフィナーレでは約2,000発の花火が打ち上げられ、46回目の和水町古墳祭が締めくくられました。

7日(日) 炎の宴

